

I 実践

1 研究主題

人権教育を基盤とした「笑顔いっぱい、何事も本気で取り組む多賀中生」の育成

(1) 主題設定の理由

『人権尊重の精神の涵養を目的とする教育活動』を通して、自分の人権を守り、他人の人権を守るための実践的行動が今日の人権教育の課題である。その課題を解決するために高めたい資質能力は「人権に関する知識理解」、「自他を守ろうとする意識や意欲」、「自他を守るための技術面や態度面での人権感覚の育成」の3つがある。

本校の目指す生徒像は、「笑顔いっぱい、何事も本気で取り組む多賀中生」である。この実現のためには、一人一人が笑顔になれる、何事も本気で取り組める教育環境、良好な人間関係、生徒が主体となり活躍できる授業や行事などの設定必要である。そのためには、一人一人を大切にしたい人権教育を基礎とした教育活動が重要になる。本校の昨年度の人権教育の課題である、「教職員の人権意識の向上と生徒一人一人に向けた指導の徹底」と、「他人との関わりを通して、互いに助け合い、ともに成長していく実践的態度」を受け、今年度は、「校内研修の増加による教職員の人権意識の向上」と「主体的に自他を尊重し、自ら考え行動できる生徒の育成」をねらいに人権教育を推進する。これらのことから、人権教育の課題と本校の課題を併せた人権教育を基盤とした生徒育成を研究主題とした。

(2) 研究内容

- ア 人権意識や人権に関する知的理解の育成
- イ 一人一人を大切にしたい学級経営
- ウ 人権について考える機会と実践的態度を育む活動の設定

2 実践内容

(1) 人権コーナーの設置と校内研修の充実

人権意識の向上を目的とし、校内の人権コーナーをリニューアルした。2つの校舎を行き来する場所に設置し、誰もが通る時に目に付き、視覚的に訴えることで人権という言葉に触れる機会を確保した。また、夏期人権研修や職員会議後のミニ研修を工夫した。『こんな学校でありたいⅡ』や『みんなえがお』、『人権啓発ビデオ』などを用いて、生徒及び教職員の人権意識の向上を図った。

(2) 行事や諸活動を通して「一人一活躍」できる学校・学級経営

他人を尊重し、大切にするためには、自分自身も大切な存在であるという感覚が生徒に根付いていることが大切である。そのためには、一人一人が活躍したり、目標を達成したりするなどの自己有用感を高める機会が必要であるため、「体育祭や文化祭」などの行事や、係活動や部活動などの諸活動で一人一人が活躍できるような学校・学級経営を推進した。そして、その活動の中で周りから認められたり、失敗しそうでも周りから助けられて達成したりするなどの経験を大切にしたい。ミニ研修や人権コーナーでは、言葉かけの実践例を紹介することで考えさせ、教員の言葉かけの質が高まるようにした。

(3) 人権に関する知識理解の育成

(ア) 『人権教室』の実施

本校の第1学年対象に、人権擁護委員と連携し人権教室を行った。相手を思いやる心や生命の尊さを体得すること等を目的として行った。「いじめをなくすために、今」をテーマに、人権啓発ビデオを視聴し、それをもとに考え、学ぶ教室となった。多くの生徒が考えたことを全員の前で発表することで、周りの人は、「いじめは嫌なことであり、なくしたい気持ちをもっている」ことを共有した。いじめをしないことや、勇気を出して止めたり、誰かに相談したりする自他を守る行動面に関する人権感覚も育めた。また、まとめでは、「言葉の重み」を知り、「命の大切さ」を考えられたことを褒め、それらを実際の学校生活で「自分と友達を守る」ことで実践できるように助言した。



(イ) 特別支援学校との交流会

第1学年の生徒が、輪投げや大縄跳び、じゃんけん列車などの遊びを決めて、特別支援学校の生徒と交流を行った。遊びを考える時には、相手のことを考え、本番では、手本を見せて活動しやすいように、その場に応じて生徒自身が考え、行動する姿が見られた。障がいのある人もない人も共に楽しみ合えることを感じる事ができた。また、嬉しい時に素直に喜ぶ姿を見て、自分たちにはできないことができていてすごいなと自分を見つめ直している生徒もいた。

3 成果

日々の教育活動の様々な場面において、人権感覚を育むことができた。また、教員が研修で学んだことを教育活動の中で進んで活かすことで、実践的態度を育成することができた。人権教育の課題と本校の課題を明確に捉えることで、諸活動で身に付けさせたい力が明確になり、教員もねらいをもって指導ができ、生徒たちも相手を思う言動が実践しやすいことがわかった。人権感覚に答えはないが、人権感覚が育まれ、一人一人が自他を尊重できた成果は、生徒の笑顔と何事も本気で取り組む姿勢に表れた。そのため、生徒たちは、各行事や諸活動では良い成績を残し、達成感などを味わうことができた。また、これらが自己有用感の高揚につながることから、私自身、人権教育と他の教育活動の密接な関係も分かり、人権教育が生徒育成の基盤となることも分かった。

II 今後の課題

人権コーナーの工夫と校内研修の充実を図ることや、人権だよりのように定期的に生徒や教職員に伝えられる機会を大切にしていきたい。また、人権教室を全学年で各学年の発達段階に応じた内容を取り上げて行うことで、偏りなく、3年間を通した人権啓発活動を推進していきたい。

III 人権コーナーの設置の様子

